

1 階廊下

大天守の1階には広い廊下があり、攻撃時に兵士が移動するのに十分なスペースが確保されている。廊下は、収納スペースである中央のプラットフォームより50センチほど下に沈んでいる。この高低差により、壇上へはかなりの段差が生じるが、通路の上に空間があるため、長い弓や火縄銃を持った兵士も楽に通行することができる。堀に面した西側と南側の通路は、一度に多くの防御者を収容するためにやや広くなっており、これらはより攻撃されやすい方向であるためだ。

廊下の壁は微妙に内側にカーブしている。これは城の石垣の基礎に起因する意図せず生じたデザインである。石垣の基礎は荒削りの石でできているため、直角を保つのが難しい。そのため、せっかく四角い基礎を築いたのに、大天守の基礎の側面は、上に行くほどわずかに内側に曲がっている。大天守の一番外側の柱を基礎に合わせたとき、このカーブが天守閣の壁にも伝わってしまったのだ。天守閣の1階と2階は正方形に見えるが、4つの角のうち3つは90度以下の角度で接している。